

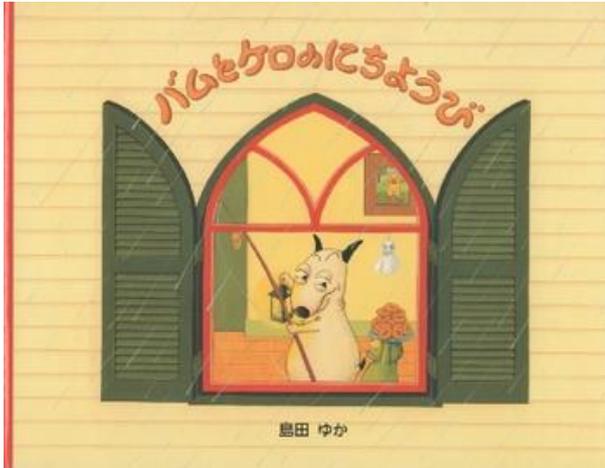


ていがかねん  
低学年におすすめ！



## 『バムとケロのにちようび』

(作：島田 ゆか / 文溪堂)

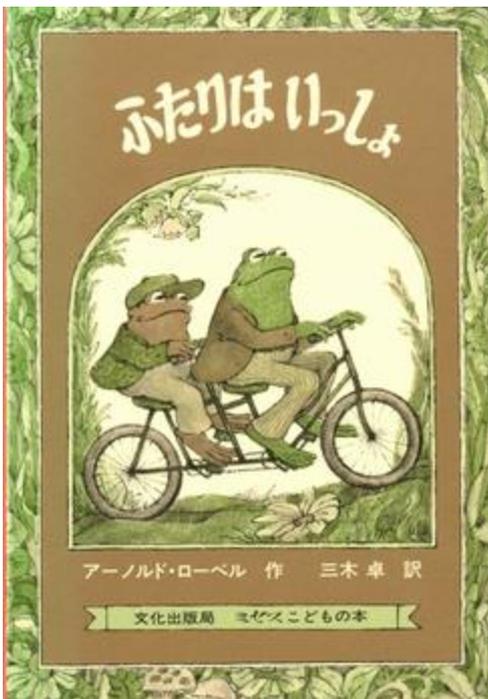


きょう にちようび。でもそと あめがふっている  
のでサッカーもすなあそびもできません。こんな日は部屋のそうじをして、  
おやつをつくって、ゆっくり本をよもう！  
とおもいついたバムのもとに、泥だらけの  
ケロちゃんがかえってきてさあたいへん！

だいにんき  
大人気のバムとケロシリーズの一作  
め。あめ ひに かぞくでおやつをたべながら  
よ読みたくなる、たの えほん楽しい絵本です。

## 『ふたりはいっしょ』

(作：アーノルド・ローベル 訳：三木 卓 / 文化出版局)



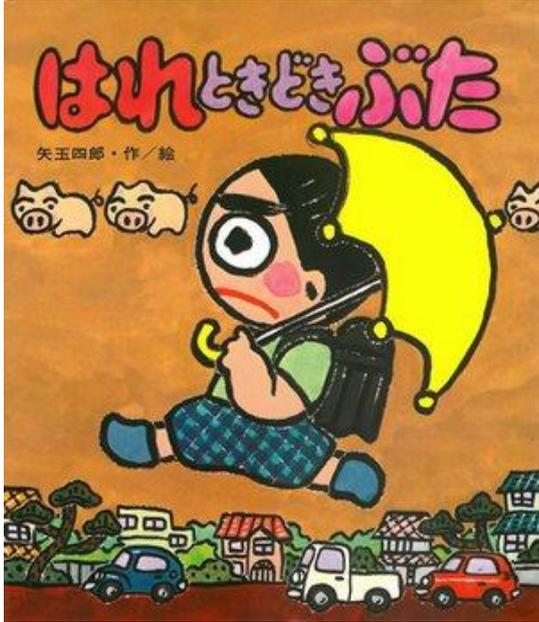
かえるくんにもらった花の種を土にまいた  
がまくんは、ちゃんと芽が出て来るか心配で  
す。早く芽が出るように、歌をうたったり、音  
がくをきかせたり…。それでも芽が出ず、ぐっ  
たりつかれてねむってしまったがまくん。かえる  
くんを起こされて目をさますと……!?

こくご きょうかしょ  
国語の教科書でもおなじみの、がまくんと  
かえるくんのお話。短い話が5話入っている  
ので、よ読み聞かせにぴったりです。



ちゅうがくねん

中学年におすすめ！

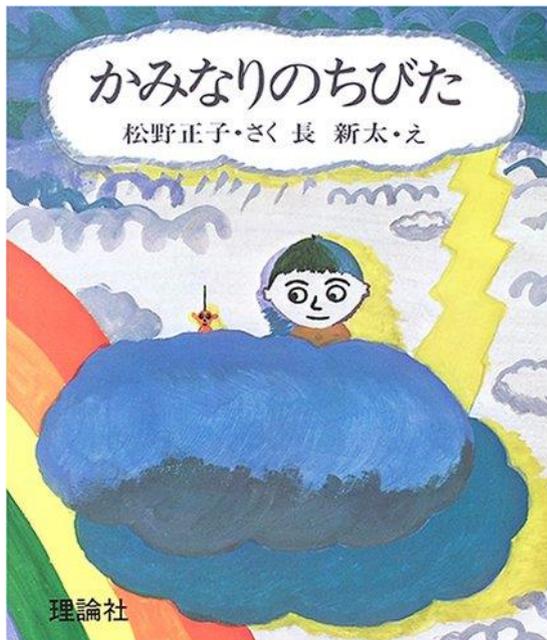


## 『はれときどきぶた』

(作・絵：矢玉 四郎 / 岩崎書店)

「きょうの天気は はじめは はれていま  
したが、ごごから ぶたがふりました。——」  
日記を勝手に見たお母さんをぎゃふんと  
いわせるために、でたらめな「あしたの日  
記」を書くことにした主人公の則安くん。  
ところが、次の日起きるとその「でたらめ」  
が現実になっていて……。

あめ  
雨ではなくてぶたがふってくる!? ドキ  
ドキとわくわくの連続です。



## 『かみなりのちびた』

(作：松野 正子 絵：長 新太 / 理論社)

ひろしが昼寝をしていると、おなかが  
むずむず。なんとそこには小さな小さな  
かみなりの子ども「ちびた」がいました。  
いたずらが大好きなちびたと友だちに  
なったひろしは、自転車にのって雲の上  
の「へそこうば」に遊びに行くことに。

ちびたとひろしのやりとりに、思わず  
くすっと笑ってしまう友情物語です。



こうがくねん  
高学年におすすめ！



## かえる ぐつ 『蛙のゴム靴』

(作：宮沢 賢治 絵：松成 真理子 / 三起商行)

はやし 林にすむ かんがえる 蛙・ぶんがえる 蛙・べんがえる 蛙の  
びきは、なかよく くも み 雲を見ながら はなし 話をしてい  
ました。くも かたち いろ 雲の形や色のことから、やがて にん  
げんかい 間界ではやっている めがえる 蛙の話題へ。ある  
ひ、かんがえる 蛙がのねずみに たの て 頼んで手に入れた  
めがえる 蛙の めがえる 蛙をはいてきて……。

めがえる 蛙をめぐって あし 足をひっぱりあう 蛙  
たち。かえる 蛙たちの さまさま 色々な 心 もようを描い  
た 作品です。



## あめ ほんや 『雨ふる本屋』

(作：日向 理恵子 絵：吉田 尚令 / 童心社)

おつかいの かい 帰り、はげ 激しい あめ 雨にふられて 市立  
としょかん 図書館にかけこんだ ルウ子。カタツムリを 追  
いかけているうちに たどりついたのは、 部屋  
のなか 中なのに しとすと あめ 雨がふり、床には 草が  
は 生えている 「あめ 雨ふる ほんや 本屋」という 不思議な 本  
屋 屋でした。

とうじょう 登場するのは、ぜつめつ 絶滅したはずの ドードー  
どり 鳥や ようせい 妖精、さらには ゆうれい 幽霊まで！ ルウ子の 不  
思議な 冒険が はじまります。